

健全育成シリーズ(150)

『子どもクラブの再開』



子どもの将来と、教育の未来を思うとき、今、様々な分野で課題が山積してあります。

めまぐるしく変わる国の政策と、価値観の多様化を背景とする学校。テレビに象徴されるマスメディアに少なからず影響を受けざるを得ない家庭。昔のように寄り合い助け合うことが希薄になったと言われて久しい地域社会。

教育は、学校と家庭と地域社会が連携し、三位一体となつて成されるものと強く叫ばれておりますが、今日のように状況が日々刻々めまぐるしく変化していく社会にあつては、今こそ、この三者の協力を体制をさらに強化し、充実していくことが求められています。幸い、本市には子どもたちの健全育成を骨子に持つ諸団体が存在し、その各種団体が様々な活動を試みておりますので、それら団体のネットワークづくりと、その組織の強化を図ることが、今とても重要だと考えます。青少年育成を担う各団体、各組織がそれぞれ横の連絡を取りながら、年間を通して数多くの行事や

活動を展開することが必要です。

例えば、ボーイスカウトやガールスカウトの活動の中に含まれているボランティア活動と心身の鍛錬をするスポーツ少年団活動を併せ持った組織を各地域に築いてはいいかがでしょうか。

わたしの子ども時代には、各地区に『子どもクラブ』が存在し、休日には、神社の庭の清掃をし、かき集めた落ち葉の中でいろいろな遊びを考え出して楽しんだものです。その遊びを通して仲間とのつきあい方を知り子どもたちの中



から自然にリーダーが育ち、統率され、実体験の中から様々なことがらが学習されていったものです。

近頃、民家のあちこちから子どもたちの遊び声が聞かれなくなり寂しい限りです。そこで何とかして子どもたちの自助力の育つ以前のような『子どもクラブ』を復活させ、青空の下で、元気に澄んだ子どもたちの遊び声を再び聞きたいものです。

ネイチャーセンターガイド(70)

連絡・問合せ先 ☎(45)6222
宝の山ふれあいの里ネイチャーセンター
開館時間：午前9時から午後4時まで
休館日：月曜日、祝祭日の翌日

●あ・そ・び・ど・う・ぐ、ぞくゾク!!完成中

先月、生態園の池の広場には、シーソー(通称：ぎったん ばっこん)、鉄棒、砂場を新たに手づくりしました。また、これまでありましたターザンロープや竹の登り棒も製作して3年が経つので、リニューアルしました。

今日も手づくりの楽しさを伝えたいと、宝の山の職人がすべり台の製作に励んでいます。

●『のびのび興譲館』自然塾

収穫の喜びをやっとの思いで体感!!!

8月の猛暑の中、行われた畑の開墾と種まき体験が3カ月の月日を経て、ようやく収穫の時をむかえました。汗は何リットルかいたでしょうか?水は何リットル飲んだでしょうか?石ころを何個ひろったでしょうか?まさか、あの小さな種がこんな形になるなんて、誰が想像していたでしょうか?

子どもたちの実った野菜を見る目にそんなことを思いました・・・

収穫した大根を使って調理した味噌汁も最高にうまかったです。



試運転中



大きいだろー



熱中観察



湯原真です!

●言葉がいらないうちがある・・・

自然塾の三つ峠登山教室のできごと。トイレ休憩中にヒミズの死体を発見した。観察をしていると、熱心にそのヒミズにくいついてくる男の子がいた。じっと眺め、手でふれていた。「死んだばかり?」「ぶにゅぶにゅしてるね?」たくさんの疑問を投げかけられた。その後、2人で土の中に埋めてあげた。無言のまま・・・

●湯原真の放浪日記

第1回 「御趣味は・・・」

嗚呼、はじめまして「宝の山ふれあいの里」の湯原真(ユハラマコト)です。イキナリですが、私の趣味といえますと、恥ずかしながら「竹とんぼ」作りです。

日々精進しているのですが、一人で「あーでもない、こーでもない」と考えながらの作業に限界を感じてきました。この紙面を通じてみなさんに言わせてもらいます!「一緒に竹とんぼ作りしませんか?」

必要な道具は「宝の山」に常時用意してありますので、気軽に来てください。お待ちしております。